

医中誌 Web 索引データにおける原著論文を中心としたオープンアクセス論文の投稿誌分析：2017

眞喜志 まり

東邦大学習志野メディアセンター

背景と目的：オープンアクセス（以下、OA）の論文数は世界中で年々増加しており、日本でも同様であると推察する。また、SPARC Japan OA(オープンアクセス)ジャーナルへの投稿に関する調査ワーキンググループの調査¹⁾によると、「OA ジャーナルでの論文発表については、分野による差が大きい。」と報告があり、総合生物、薬学、生物学、医学では 45.4%～56.7%と OA 論文数の発表率の高さが示されている。本調査では、2017 年発行誌で医中誌 Web に調査日時時点で登録されている原著論文の記事区分が索引された OA 論文データの投稿誌情報等を分析し、国内を中心としたライフサイエンス分野の OA 投稿先について特徴を探ることを目的とする。

方法：医中誌 Web を用い 2017 年発行分で OA 研究論文を検索した。検索結果 8,447 件（2018 年 2 月 27 日検索）のうち、論文掲載数上位の研究論文を抽出し調査している。以下は、調査項目および結果の一部である。

Characteristic	Category	Number(Percent)
Total number of journals		622
Total number of articles		8,447
Language of articles (n=8447)	English	3,767 (44.6%)
	Japanese	4,680 (55.4%)
Number and percentage of platform, by access category (n=134) 複数回答あり	J-stage	110 (73.8%)
	Institutional repositories	22 (14.8%)
	PMC	5 (3.2%)
	Publisher site	4 (2.6%)
	Association site	10 (6.4%)
Peer-review (n=134)	Institution site	5 (3.2%)
	Yes	121 (90.3%)
	No	0 (0.0%)
	Unknown	13 (9.7%)
Type of OA (n=134)	Gold OA	123 (91.8%)
	Delayed OA	9 (6.7%)
	Hybrid	1 (0.7%)
	Mix	1 (0.7%)

Fig.1 A part of epidemiology of open access articles indexed in 2017, subgrouped by focus of original article. 結果および考察：引き続き調査を進め、当日会場で発表したい。